

各種認定資格取得者数の推移

認定資格取得は、臨床検査技師としてスキルアップを図るためには有効な手段の一つであります。平成24年度より「認定輸血検査技師」の資格認定機関研修に対する受講について支援が認められ、平成27年4月には、「認定臨床微生物検査技師」に認定技師手当てが新設されました。各支部においても認定資格取得に向けた研修会が積極的に開催されるなど資格取得への環境も整いつつあります。また資格取得後も検査室のレベルアップ、診療部との信頼関係、チーム医療への参画等、資格をどのように活かして施設の医療の質向上に繋げていくかが重要になってきております。

令和元年5月現在の各種認定資格取得者状況を年代別および年次推移を下記に記載します。ここ数年は若手の取得者数が増えてきておりますが、取得者の高齢化が進んでおります。複数種類の資格取得に向けて、さらなる研鑽に励んでいただきたいと思います。

年代別の主な認定資格取得者数（令和元年 組織実態調査より）

	20代	30代	40代	50代	60代	年齢不明	合計
認定病理検査技師	3	20	13	7	0	0	43
細胞検査士	60	91	57	97	18	0	323
超音波検査士	37	159	122	101	19	1	439
日本糖尿病療養指導士	1	11	13	17	5	0	47
認定輸血検査技師	1	18	19	24	1	0	63
認定臨床微生物検査技師	0	12	10	11	2	0	35
NST専門臨床検査技師	0	8	12	16	0	0	36

主な認定資格取得者数の推移（平成26年～令和元年 組織実態調査より）

	H26.05	H27.05	H28.05	H29.05	H30.05	R1.05
認定病理検査技師	-	9	12	20	29	43
細胞検査士	297	300	308	302	309	323
超音波検査士	345	363	395	411	437	439
日本糖尿病療養指導士	48	48	44	47	52	47
認定輸血検査技師	55	55	54	60	62	63
認定臨床微生物検査技師	29	28	28	34	39	35
NST専門療法士	34	33	40	39	37	36

